

港中だより

伊勢市立港中学校 No.19

R3. 11. 10

校長 金森 晃生

全国学力・学習状況調査について

5月27日に実施した全国学力・学習状況調査の結果が8月末に公表されました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で、全国统一しての実施はされませんでした。また、この調査は3年生のみのものです。今年度は教科として国語・数学。生活や教科への関心など、教科以外の生徒質問用紙で実施されました。以前は、国語・数学について、A問題（基礎的・基本的な知識・技能をみる問題）とB問題（基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかをみる問題）がありましたが、前回から基礎的な学力を活用し解答する、AとBを合わせた総合的な問題の構成になっています。英語・理科については実施される年とされない年があります。理科については、来年度、実施される予定です。

大変遅くなりましたが、港中学校の今回の結果について報告します。

学力調査について、国語・数学ともに正解が0ないし1問の生徒はいませんでした。（全員が2問以上正解しました）国語については、全部で14問あり、平均正答数は全国で9.0問、三重県は8.8問、港中は8.8問となり、全国・三重県ともほぼ変わりませんでした。数学については、全部で16問あり、平均正答数は全国で9.1問、三重県は9.2問、港中は9.9問となり、全国・三重県より大きく上回りました。生徒のみなさんの努力はもちろんですが、1年生の少人数授業による基礎基本の習得が、全国や三重県の結果を大きく上回ったのではないかと思います。国語・数学とも、回答方法の「選択式」「短答式」「記述式」は、どれもほぼ全国平均であり、特に数学は「短答式」「記述式」は大きく上回っています。これまで、港中は「記述式」の回答方法が苦手なところがありましたが、日々の学習の中で徐々に克服できているようです。また、無回答率（間違っているのではなく、答えを書かない）は、全国に比べてもかなり低く、調査にあたって、一人ひとりが真剣にあきらめることなく、一生懸命に取り組んでくれた結果だと思えます。これからの定期テストや、入学試験などで、途中までであっても自分の考えられるところまで答えを書いてみる事が大切だと思えます。どの教科でも、ここまで考えた、取り組んだということを残す努力をしましょう。記号についても少しでも自分の答えに近いものを書くことが大切だと思えます。今回の調査は、あくまでこれまで（主に中学校2年生）の学習内容に関する理解を確認するためのものであり、その後の学習はみなさんの努力次第です。この調査は、港中学校の学習の状況のほんの一部です。引き続き3年生や、1、2年生のみなさんは学習の充実を図ってください。以下に港中学校3年生の強み、弱みを表記します。

1. 学力調査について

(1) 国語について

すべての教科、生活の基本となる国語ですが、ほぼ全国平均でした。その中でさらに力をつけてほしいところは「理由を書く」「自分の考えを書く」「敬語の使い方」です。「敬語の使い方」については、日常の生活の中で、適切に使えているか、また敬語を使うことによって自然と身につくものではないか、と考えられます。最近の高校入試や就職試験などにおいても、面接があります。ぜひ、日ごろから意識して敬語を使うよう努力してみてください。理由や考えの「書く」ことに関しては、単純に「書く」のではなく、しっかり考え、読み取ったことを「書く」ということです。この課題は、どうすれば力がつくのかは、人それぞれ違うと思えます。でも、国語に限らず、どの教科でも、授業中にしっかり

考えることが重要です。考えてこそ、自分の意見や疑問や理解ができ、次の過程に進めます。まずは考える習慣をつけてください。もう一つ、読書も効果的だと思います。読書することによって、ジャンルによって異なりますが、登場人物の心情や、場面の想像、多くの知識など得られると思います。

国語の力が、すべての教科、生活の基本となります。改めて、学習に取り組みましょう。

(2) 数学について

数学については全国平均をかなり上回りました。一人ひとりの強み、弱みは異なりますが、全体として各領域で全国平均を下回るものはありませんでした。特に「関数」「資料の活用」の正答率は10%ほど上回っています。これから、さらに努力を重ねて、力をつけていってほしいと思います。

2. 学習状況(生徒質問)・学校調査について

①生徒質問用紙から全国と比較して強み、課題を報告します。数字はおおよそのものです。

○強み

| | | | | | |
|-----------------------|-----|-------|-----|-------|------------------------|
| (国語が好き | 73% | 数学が好き | 47% | 英語が好き | 73%) |
| ・今住んでいる地域の行事に参加する | | | | 57% | |
| ・難しいことも失敗を恐れなくて挑戦する | | | | 74% | |
| ・自分には良いところがある。 | | | | 70% | } 規範意識 自己有用感 が高い |
| ・自分でやると決めたことは、やり遂げる | | | | 84% | |
| ・人が困っているときは進んで助ける | | | | 96% | |
| ・いじめはどんな理由があってもいけないこと | | | | 97% | |

○課題

・携帯電話などを使っての、平日のゲームの時間。

全国では2時間以内が40%程度にもかかわらず、港中は26%。ということは約75%が平均2時間以上、平日毎日ゲームをしているということです。また、平日3時間以上勉強する割合は、全国12%、港中7%でした。休日は全国28%、港中21%でした。やはり、ゲーム機などの使用は家庭学習の時間を減らしていると考えられます。他にも、睡眠時間が削られているのかもしれませんが、その反面、家の人と決めた使い方の約束を守っている人は、全国とほぼ同じ70%でした。これを見ると、使用時間の約束(ルール)が緩いのか、正確な回答でないのはわかりませんが、もう少し、各家庭での家庭学習の時間を増やせるよう、約束を考えなければならないのかもしれない。

②学校調査(学校全体での教育活動について)

全国の取り組み結果と違いはなく、今後はさらに内容を充実させていきます。

3. 今後の取り組みについて

本校では調査の結果を真摯に受け止め、強みを伸ばし、弱みを克服できるよう検討していきます。教科については、すべての教科で「考える」ことを中心に「書く」「話す」「聞く」「読む」の活動を通して学習内容が深く理解できるように、指導方法の改善に努めていきたいと思っています。今後は、家庭学習の充実を図ることを重要な課題とし、タブレットの活用や家庭学習の題材を提供するなど、家庭での勉強時間の確保と習慣をつけ、授業内容の理解につながるようにしていきたいと思っています。

今回の生徒調査で、コロナ禍の休校(昨年度)で学習に不安を感じていた生徒が、66%にも及びました。今年度も9月に臨時休校があり、やっと学校生活のリズムを取り戻しつつあります。しかし、感染症予防の生活は続いており、まだまだ生徒のみなさんは不安を抱えていると感じています。学校は、これからもできる限り、学力と人間形成の両面から、ご家庭や地域のみなさまと連携し、生徒の成長を支援していきたいと考えます。

どうかご理解・ご協力・ご支援をお願いいたします。